

## I 沿革

- 昭和30年 9月 鳥取市立川町6丁目（旧練兵場跡地）に鳥取県林業試験場（庶務係・施業部・改良部を設置）として開場し、全国で21番目の公立林業試験場として業務を開始した。
- 昭和34年 4月 施業部を経営部に、改良部を造林部に改称する。
- 昭和37年 9月 部制を科制に改称し、1係2科制となる。
- 昭和45年 4月 係制を課制に改称し、総務課、経営科、造林科の1課2科制となる。
- 昭和50年 4月 林木品種改良事業を造林課より当場に移管する。
- 昭和51年 4月 育種科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科の1課3科制となる。
- 昭和55年 4月 保護科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科、保護科の1課4科制となる。
- 昭和55年 6月 林業試験場を八頭郡河原町稲常（現 鳥取市河原町稲常）へ新築移転する。
- 平成 7年 4月 科制を室制に改称し、総務課、森林造成研究室、林業生産研究室、森林管理研究室、木材加工研究室の1課4室制となる。
- 平成 7年10月 木材加工研究棟の新設。
- 平成17年 4月 森林管理研究室、木材利用研究室の2研究室制となる。
- 平成18年 4月 農林水産部内に農林総合技術研究院が新設され、総務課が総務普及課となる。
- 平成20年 4月 農林総合技術研究院が農林総合研究所となり、傘下に農業試験場、園芸試験場、畜産試験場、中小家畜試験場、林業試験場が統合され、林業試験場は農林総合研究所林業試験場となる。総務組織が農林総合研究所企画総務部に統合され、林業試験場の総務普及課が廃止される。
- 平成26年 4月 農林総合研究所体制が再編され、各試験場は本庁所管課の地方機関とされ、林業試験場は農林水産部林政企画課の傘下となる。

## II 機構（平成29年4月1日現在）

### 1 組織・業務

場長	—	森林管理 研究室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 森林の防災機能等に関すること</li> <li>2 森林整備に関すること</li> <li>3 森林植生に関すること</li> <li>4 特用林産物に関すること</li> <li>5 林木育種・林木品種改良事業に関すること</li> <li>6 林業機械の利用技術および労働安全に関すること</li> <li>7 苗木の養成技術に関すること</li> <li>8 有用樹種の増殖技術に関すること</li> <li>9 森林被害の研究・制御技術に関すること</li> <li>10 病虫等による森林被害の発生予察・同定・制御技術に関すること</li> <li>11 育林技術に関すること</li> <li>12 森と木の情報発信事業に関すること</li> <li>13 試験研究林・樹木園管理及び原種の収集・保存に関すること</li> <li>14 21世紀の森の管理運営に関すること</li> </ol>
	—	木材利用 研究室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 木材の乾燥技術に関すること</li> <li>2 木材の強度性能に関すること</li> <li>3 木材の構造的利用に関すること</li> <li>4 木質材料の加工技術（CLT LVLなど）に関すること</li> <li>5 木材及び木質材料の利用技術に関すること</li> <li>6 県産材の材質評価に関すること</li> <li>7 未利用資源の有効利用に関すること</li> <li>8 木材の保存・難燃処理技術に関すること</li> <li>9 木質バイオマスエネルギー資源利用技術に関すること</li> <li>10 住宅の居住性に関すること</li> </ol>

## 2 職員数

## (1) 職員配置状況

(平成29年4月1日現在)

課・室名	区分	事務職員	技術職員	現業職員	計	非常勤職員	備考
場長 (事務室)		1	1		1		
森林管理研究室			6	1	7	2	森林学習展示館 試験地管理・21世紀の森
木材利用研究室			5		5	2	
計		1	12	1	14	18	

## (2) 職員一覧表

(平成29年4月1日現在)

課・室名	職名	氏名
	場長	大北 誠
	課長補佐	蔵内 康雄
森林管理研究室	室長	谷口 公教
	主任研究員	山増 成久
	主任研究員	池本省 吾
	主任研究員	西 信介
	主任研究員	矢部 浩
	研究員	富森 加耶子
	現業職長	玉木 操
木材利用研究室	室長	野間 修一
	主任研究員	川上 敬介
	主任研究員	森田 浩也
	研究員	桐林 真人
	研究員	半澤 綾菜

### Ⅲ 施 設 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

#### 試 験 場

(1) 鳥取市河原町稲常 1 1 3

1) 土 地	267,213.24m <sup>2</sup>	2) 建 物	3,935.24m <sup>2</sup>
建物等敷地	10,180.24m <sup>2</sup>	本        館	1,174.98m <sup>2</sup>
苗        畑	7,000.00m <sup>2</sup>	木材加工研究棟	936.60m <sup>2</sup>
シリンジ苗畑	600.00m <sup>2</sup>	昆虫飼育室	50.00m <sup>2</sup>
採    穂    園	6,000.00m <sup>2</sup>	車庫・機械実験室	196.00m <sup>2</sup>
採    種    園	22,000.00m <sup>2</sup>	作業舎・農機具舎	320.80m <sup>2</sup>
試    験    林	170,000.00m <sup>2</sup>	ガラス室	194.40m <sup>2</sup>
樹    木    園	19,000.00m <sup>2</sup>	温        室	100.30m <sup>2</sup>
人 工 槽 場	400.00m <sup>2</sup>	機 械 室	12.00m <sup>2</sup>
そ    の    他	32,033.00m <sup>2</sup>	堆 肥 舎	50.00m <sup>2</sup>
		発 電 気 室	29.75m <sup>2</sup>
		ポ ン プ 室	12.66m <sup>2</sup>
		プロパン庫	8.88m <sup>2</sup>
		屋 外 便 所	10.21m <sup>2</sup>
		廃液保管庫	9.80m <sup>2</sup>
		製品保管庫	60.00m <sup>2</sup>
		木材技術工芸実習館	256.25m <sup>2</sup>
		森林学習展示館	326.00m <sup>2</sup>
		苗木養成等実習館	96.99m <sup>2</sup>
		野鳥等自然観察施設	16.81m <sup>2</sup>
		少量危険物保管庫	6.62m <sup>2</sup>
		フオークリフト車庫	16.50m <sup>2</sup>
		とっとり林業技術訓練センター	49.69m <sup>2</sup>

#### 位置及び交通

##### 位 置

〒680-1203 鳥取県鳥取市河原町稲常 1 1 3 番地

T E L (0858) 85 - 6221

F A X (0858) 85 - 6223

##### 交 通

鳥取駅方面から智頭・河原方面行バス稲常下車徒歩10分

(鳥取駅から車で15分)

## IV 予算の状況 (平成28年度)

### 1 林業試験場費の予算額

(単位：円)

事業名	平成28年度			平成29年度	
	当初予算額	財源内訳		当初予算額	
国庫支出金		その他	一般財源		
管理運営費	46,333,000		98,000	46,235,000	46,993,000
試験研究費	15,037,000		3,897,000	11,140,000	15,542,000
林業試験場「森と木の情報発信事業」	1,626,000		25,000	1,601,000	1,618,000
林木品種改良事業費	98,000			98,000	98,000
施設整備費	85,000			85,000	0
合計	63,179,000		4,020,000	59,159,000	64,251,000

### 2 その他の執行予算額

(単位：円)

科目	執行予算額	科目	執行予算額
森林病虫害防除費	2,401,543	林業振興費	196,060
環境保全費	166,170	農業総務費	495,712
造林費	548,510	一般管理費	647,892
財産管理費	277,128	合計	4,733,015

## V 試験研究成果の発表論文名一覧

発表論文名	発表者	掲載誌名	発行年月
(1) 応力波を使ったはい積み丸太の乾燥行程管理	桐林 真人	日本木材加工技術協会、 学術誌「木材工業」	H28年4月
(2) サンディング加工したスギ・ヒノキ単板による LVLの接着性能	川上 敬介	森林バイオマス利用学会 誌第11巻第1号	H28年6月
(3) 応力波伝搬時間計測によるスギ葉枯らしの乾燥 行程の観察	桐林 真人	日本木材加工技術協会、 学術誌「木材工業」	H28年7月
(4) 応力波法を用いた立木ならびに原木の非破壊的 な材質評価とその応用	桐林 真人	鳥取大学大学院連合農学 研究科学学位請求論文	H29年3月

## VI 学会発表及びその他の発表課題名一覧

発表課題名	発表者	掲載誌名	発行年月
(1) 森林路網の損壊が生じた斜面の特徴について	矢部 浩	第52回近畿・中国・四国 地区治山林道研究発表論 文集	H28年9月
(2) ヒノキ・スギ単板のサンディング加工がぬれ性 能に及ぼす影響	川上 敬介	日本木材学会 中国四国 支部第28回研究発表要旨 集	〃
(3) はい積み保管した燃料用木材の含水率変動（第3 報）冬期に被覆したはい積み丸太の水分変動	森田 浩也	〃	〃
(4) 応力波による丸太の強度性能推定に対する含水 率の影響	桐林 真人	〃	〃
(5) 大径化したスギ並材の製材としての利用技術（第 1報）～2丁取りした心去り平角材の性能評価～	半澤 綾菜	〃	〃
(6) 林道法面の損壊調査から明らかになった危険地 形の特徴について	矢部 浩	第67回応用森林学会大会 学術講演集	H28年10月
(7) 応力波法を用いた立木ならびに原木の非破壊的 な材質評価とその応用	桐林 真人	鳥取大学大学院連合農学 研究科学学位論文公開審査 会	H29年1月
(8) 各都道府県の林業・林産業と遺伝育種の関わり	池本 省吾	森林遺伝育種 第5巻	〃
(9) スギ3層クロスパネルを仕上げ材とした乾式二重 床の衝撃音性能	川上 敬介	第67回日本木材学会大会 研究発表要旨集	H29年3月
(10) はい積み保管した燃料用丸太の含水率変動（第 4報）夏・冬にはい積みを開始した丸太の含水率変 動	森田 浩也	〃	〃
(11) 応力波法によるスギ立木の樹幹内水分量把握の 試み	桐林 真人	〃	〃
(12) チップ向け広葉樹大径材の容積密度及び含水率 の水平変動	半澤 綾菜	〃	〃
(13) 応力波法を用いた立木ならびに原木の非破壊的 な材質評価とその応用	桐林 真人	鳥取大学大学院連合農学 研究科（学位請求論文）	〃
(14) スギ列状間伐における残存木の成長	山増 成久	日本森林学会第128回研 究発表要旨集	〃
(15) 施肥がセンダン苗木の成長に及ぼす影響	池本 省吾	〃	〃
(16) ナラ枯れ被害拡大地域のコナラ・ミズナラ林分 で翌年のナラ枯れ危険度を予想する	西 信介	〃	〃
(17) 森林路網の盛土転圧	矢部 浩	〃	〃

## Ⅶ 森林講座（森のいろは塾）の開催

開催日時	開催場所	内容
平成28年8月6日	林業試験場場内及び21世紀の森	樹木の観察、木工品づくりや草木染めなど3講座で開催。研究員が講師をつとめ親子141名が参加した。

## Ⅷ 林業試験場研究発表会

### 森林・林業セミナー

開催日時	開催場所	テーマ
平成28年11月30日	とりぎん文化会館	木の新時代に向けて

発表課題名	発表者名
「クロスパネル（CLT）の開発」	川上 敬介
「地震に強いスギ厚板耐力壁の開発」	森田 浩也
「次世代のスギは強いスギを」	桐林 真人
「早生樹（センダンなど）の利用について」	池本 省吾

## Ⅸ 利用状況

区分	経営	環境	育林	機械	病虫害	特産	育種	育苗	木材加工	計
受託指導	0	5	22	1	42	4	7	5	14	100
派遣指導	5	9	16	10	11	4	0	2	10	67
委託試験	縦振動ヤング係数計測、含水率試験、実大圧縮試験、パレット破壊試験									9

受託指導：来場者、送付標本等による技術指導件数。

派遣指導：研究員を現地に派遣して指導した件数。

委託試験：木材加工研究棟の機械を使用して試験を行い、試験成績書を発行した件数。

## X 講師派遣

期 日	講 師 名	内 容	対 象 者
H28年4月4・5日 H28年4月27日	玉木 操 池本 省吾	森林組合新規採用職員基礎研修 クヌギ保育技術研修会	八頭中央森林組合5名 北栄町原集落、中部森組等 40名
H28年5月19日	大西 良幸 森田 浩也	里山と竹の利用技術講義	鳥取環境大学17名
H28年6月6日	山増 成久 矢部 浩	ドローンの活用、及びシカ対策技術	林業技術職員35名
H28年6月10日 H28年6月13日	池本 省吾 川上 敬介	トチノキ生育学習会・苗木観察会 県産材CLTを使った水平構面の たわみ強度検証	智頭小学校45名 木材・建築関係者、米子高専93名
H28年6月15日	西 信介	野外の危険な動物とその対処法 (ハチ、ダニ、マムシ、クマなど)	県土地改良連合会30名
H28年6月24日 H28年6月28日	川上 敬介 矢部 浩 谷口 公教	木材のマテリアル・エネルギー利用 弓ヶ浜松林のショウロ発生誘導技術 指導	鳥取環境大学75名 境港ライオンズクラブ4名
H28年7月8日 H28年7月21日	森田 浩也 川上 敬介	地震に強い木造住宅と県産材の技術 木材接着講習会 ((公社)日本木材 加工技術協会中国支部)	県木材工業研究会ほか50名 木材・家具企業関係者22名
H28年7月27日 H28年7月28日	大西 良幸 池本 省吾 矢部 浩	里山と広葉樹の利用技術 山林樹苗研修会	鳥取市佐治町農業関係者15名 県山林樹苗協同組合22名
H28年8月21日	川上 敬介	木材・木造住宅の良さ (木の家づく り相談コーナー)	天神川流域林業活性化センター 20名
H28年9月4日 H28年9月9日 H28年9月12日	矢部 浩 池本 省吾 矢部 浩	保水材を使用した苗木の植栽技術 トチの特性勉強会 クロマツ植栽地でのショウロ液散布 による取組指導	鳥取ハドルの会40名 智頭小学校50名 浜坂集落ほか30名
H28年9月13日 H28年9月27日 H28年9月30日 H28年10月9日	桐林 真人 池本 省吾 西 信介 川上 敬介	原木造材・葉枯らし研修 コンテナ苗養成、コウヨウザン研修 ナラ枯れ勉強会	智頭自伐林家・智頭森組53名 山林樹苗協同組合15名 中部森林組合ほか16名
H28年10月12日	山増 成久	健康省エネシンポジウム (健康・省 エネ住宅を推進する国民会議)	医療・木材・建築関係者、消費者 120名
H28年10月14日	矢部 浩	ドローンを使った森林現況把握及び 架線集材のリードロープ架設 (とっ とり農業イノベーション協議会)	鳥取大学、民間企業、県50名
H28年10月25日 H28年11月7日 H28年11月18日	山増 成久 池本 省吾 矢部 浩	地下流水音探査法技術講習会 (中国 地質調査業協会鳥取県支部)	建設コンサルタント関係者25名
H28年10月25日 H28年11月7日 H28年11月18日	山増 成久 池本 省吾 矢部 浩	林業機械研修 トチの森づくり勉強会 気候変動に関する情報交換会 (鳥取 地方气象台主催) 森林路網災害を防 ぐために注意すべき危険地形につい て	日本きのこセンター研修生1名 智頭小学校38名 県・市町村・温暖化防止推進員等 20名
H28年11月18日	川上 敬介 森田 浩也 桐林 真人 池本 省吾	クロスパネル (CLT) の開発 地震に強いスギ厚板耐力壁の開発 次世代のスギは強いスギを 早生樹 (センダンなど) の利用につ いて	鳥取大学60名
H28年11月25日	池本 省吾	樹木学研修	日本きのこセンター研修生1名

H28年12月6日	大西 良幸 山増 成久 池本 省吾 西 信介	里山・広葉樹の利用技術研修会	讚郷愛林協会15名
H29年1月20日 H29年2月14日	矢部 浩 川上 敬介	C S 立体図を用いた危険個所把握 木質バイオマス燃料ワークショップ	林業・建設関係者、県70名 森林総研、林業・木材関係者、県30名
H29年2月17日 H29年2月24日 H29年3月16日	山増 成久 池本 省吾 山増 成久	ドローン活用講習会 生産事業者講習会 ドローン活用技術講習会	智頭農林高校20名 生産事業者登録希望者4名 県産業技術センター・企業・大学30名

## XI 研修生の受入れ

H28年5月16～20日	森林管理研究室 木材利用研究室	いきいきワークかわはら 「森林、木材調査補助」	河原中学校生徒4名
H28年8月22～26日	森林管理研究室 木材利用研究室	インターンシップ	名古屋大学1名



## Ⅷ 平成29年度に行う試験研究課題と関連事業

### 1 試験研究

課 題 名	担 当 者
(森林管理研究室) 低コスト再造林・保育技術の確立 ハイブリッド無花粉スギの創出 初期成長の優れたコンテナ苗生産技術及び植栽実証試験 高齢広葉樹（ナラ類、シイ・カシ類）の萌芽更新技術の確立 特用樹木の効率的増殖技術の開発 山地災害リスクを回避・軽減する現地判定技術の開発 早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験 ドローンを使った森林現況解析及び架線集材におけるリード ロープ架設の実証試験 (木材利用研究室) スギ一般大径材を活かした新たな心去り製品の開発 直交層を挿入した新たな県産材LVL製品の開発 燃料用木質バイオマスの水分管理技術に関する実証試験 伐採木材（CLT）の高度利用技術の開発 県産スギ板材の表面処理技術に関する研究 現場施工が容易なユニット式耐力壁の開発 スギ材の効率的な葉枯らし乾燥システムの開発 住宅内装製品への県産広葉樹材の活用に関する研究	山増 成久 池本 省吾 富森加耶子 西 信介 矢部 浩 矢部 浩 池本 省吾 山増 成久  半澤 綾菜 川上 敬介 森田 浩也 川上 敬介・桐林真人 桐林 真人 森田 浩也 桐林 真人 川上 敬介

### 2 関連事業

事 業 名	担 当 者
林木品種改良事業 樹苗養成事業 森林病虫害防除事業 環境省酸性雨モニタリング事業	玉木 操・富森加耶子 池本省吾・富森加耶子 西 信介 谷口 公教

### 3 臨時的調査研究

課 題 名	担 当 者
透明厚手ビニールシート被覆によるナラ枯れ防除技術の効果 調査 コウゾ脇芽抑制試験	西 信介・谷口 公教  矢部 浩・富森加耶子